

令和三年五月十日提出  
質問第一二七号

新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する質問主意書

提出者 関健一郎

## 新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する質問主意書

ワクチン接種は、世界中の関心事であり、日本国内でも最大級の関心が寄せられている。

そうした中で、世界最大手の通信会社ロイターが令和三年五月のニュースで「日本には既に多くのワクチンが入っているが、接種の準備が整っていないので国内で保存している状況が続き、いずれ使用期限を超えてしまう可能性がある」と世界に発信した。

虚偽であれば明確に否定する必要がある内容であり、事実であれば、接種スケジュールの遅れの理由を明確に説明しておく必要がある。

これらのことを踏まえ、以下質問する。政府の把握するところを答えられたい。

一 これまでに日本国内に何回分のワクチンが輸入されたか。

二 現時点で日本国内に何回分のワクチンが存在するか。

日本に輸入されたものから、既に接種されたものを差し引いたものは何回分か。

三 使用期限は、そのワクチンによりばらつきがあると推察されるが、その期限を迎えるのは最短でいつで、どれくらいの量か。

四 既に使用期限を迎えたワクチンはあるか。あるならば、どれくらいの量か。

五 今年七月末までに使用期限を迎えるワクチンはあるか。あるならば、どのくらいの量か。

六 この報道は世界中で報道されているが虚偽ではないか。事実を明らかにされたい。

七 虚偽であれば、抗議または訂正の要求をする必要があると考えるが、政府の見解を示されたい。

右質問する。